

「西別湿原ヤチカンバ群落」国天然記念物指定答申報告会

「西別湿原ヤチカンバ群落」が国の天然記念物に指定されることになったことから、報告会を開催し、今後の保存と活用について考える機会としたいと思います。ぜひご参加ください。



日時 令和5年12月10日（日）

午前10時から午前11時20分

場所 別海町青少年プラザ プラザホール

内容 ①指定答申報告～「西別湿原ヤチカンバ群落」について、国天然記念物指定決定に至る経緯と概要を報告します。

②パネルディスカッション「今後の保存活用に向けて」～

鈴木三男東北大名誉教授、大原雅北大名誉教授他専門家を招いて、今後の保存活用について討議します。

※参加申し込み等は不要です。当日直接会場にお越しください。

ウィンタースクール「大昔のべつかい・勾玉づくり」のお知らせ！

日時 令和6年1月11日（木）

①午前の部 10：00～12：00

②午後の部 13：30～15：30

内容 ①お話 大昔のべつかい

②体験活動 勾玉づくり

対象者及び募集人員

午前・午後の部共に小学校以上 10名

（親子参加可）



申込期間 12月4日（月）～27日（水）電話かFAXにて「お名前・電話番号」を連絡ください。

出前移動展「メナシのアイヌとともに生きる」のお知らせ！

日時 令和5年12月7日（木）～26日（火）

場所 野付半島ネイチャーセンター



ふるさと講座・自然系第2回目

「コクガン観察会」を実施しました！

11月18日（土）野付半島で実施しました。講師は、NPO法人野付・エコ・ネットワーク、参加者7名でした。

講師よりネイチャーセンター2階で、コクガンについてのお話をいただきました。その後、野付半島先端に車で移動しました。車で通行可能な池田番屋からは、徒歩で先端を目指しました。

前日の雨と潮周りが悪く（ほぼ満潮）コンディションが悪かったのですが、比較的近くでコクガンを観察できたほか、カイツブリ、シギ・チドリ、ワシ類など多くの鳥を観察することが出来ました。



「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・松浦武四郎・南摩綱紀～」その4

加賀伝蔵、メナシのアイヌとともに生きる

伝蔵は、1830年～1843年（天保年間）に釧路場所から根室場所に移り、場所請負人藤野喜兵衛の用人として働きます。主な職務は通辞（アイヌ語通訳）であり、主に野付通行屋（1799年（寛政11）に幕府が野付半島先端に設置）に勤め、メナシのアイヌとともに生きることになります。

根室場所は、飛騨屋久兵衛・村山伝兵衛・高田屋嘉兵衛・藤野喜兵衛らの場所請負人によって漁場が開かれました。場所請負人は、根室の会所を経営の拠点とし、支配人（場所の責任者）・通辞（アイヌ語通訳）・帳役（会計）・番人などを配置しました。



「加賀家文書」蝦夷物語より



別海町郷土資料館だより No.293

発行日 令和5年12月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802（FAX 兼）

編集後記

国の天然記念物に指定された西別湿原ヤチカンバ群落地の発見は、町内で長く教員を勤められた方でした。植物への造詣が深く、図鑑なども自費で刊行しこの地域の自然教育に多大な功績を残されました。今後は、この貴重な植物の保存と活用を考えていくことになります。